

第5次豊明市総合計画の中間見直し内容について

1. 第5次豊明市総合計画（改訂版）策定の目的

平成28年度から始まった総合計画が令和2年度末で中間点を迎えるため、現状の効果検証に基づき必要な点を見直し、めざすまちの姿の実現に向けて令和3年度以降の後期基本計画として策定します。

2. 見直しの概要

(1) 全体の共通的な見直し

- ・元号の修正（平成→令和）
- ・固有名詞の修正（例：藤田保健衛生大学病院→藤田医科大学病院）

(2) 理念ごとの計画（P.32～）の見直し



① 現状と課題

策定時から一定期間が経過し、社会情勢、生活環境の変化に伴い、市を取り巻く「現状と課題」の時点修正を実施しました。特に、実施事業については、策定時以降、今後の課題として記載すべき事業について加筆修正を行いました。

② SDGsについて

SDGsの17の目標は、「貧困をなくそう」から「パートナーシップで目標を達成しよう」まであり、総合計画の目標であるめざすまちの姿と同じ方向性であることから、SDGsで掲げられた17の目標との関係性をめざすまちの姿ごとに整理し、アイコンを明示しました。

③ まちづくり指標

(i) めざす値の修正について ⇒ 資料2

まちづくり指標の現状値は、毎年、市民アンケートにより把握しています。めざす値に対する進捗状況を確認し、資料2のとおり見直しを行いました。

(ii) まちづくり指標自体の見直しについて ⇒ 資料3

現状値が取れていなかった2つの指標について、資料3のとおり見直しを行いました。

④ 市民ができること ⇒ 資料4

めざすまちの姿の実現に向けて、主にまちづくり指標の達成度合いが低く、役割期待値として市民の割合が高いめざすまちの姿を対象に、市民ワークショップを開催し意見交換を行いました。策定時から変化があったことや、新たに追加した方が良いことなどについて意見出しをしていただき、資料4のとおり修正を行いました。

(3) 地域別計画（P.129～） ⇒ 資料5

地域別計画の構成は、①中学校区の概要、②自慢できること、好きなところ、③地域の変化、④未来を実現するために地域ができることの4部構成になっています。

市民ワークショップを開催し、④未来を実現するために地域ができることについて意見交換を行いました。策定時から変化があったことや、新たに追加した方が良いことなどについて意見出しをしていただき、資料5のとおり修正を行いました。

(4) 資料編 (P. 147～)

- ・「現状と課題」の修正に合わせた用語説明の追加
- ・見直しに伴うまちづくり指標一覧の修正
- ・改訂版の策定経過の追加

○改訂版策定経過の概要

年 月	審議会・議会・市民参加	庁内体制	
令和2年度	4月	まちづくりアンケートの実施・集計(毎年)	
	5月		
	6月	まちづくり指標の現状分析	
	7月		
	8月	第1回総合計画審議会(諮問)	経営戦略会議
	9月		
	10月	市民ワークショップ 市民ができることの検討 地域の未来像とその実現に向けた検討	めざそう値の見直し検討 現状と課題の時点修正
	11月		経営戦略会議
	12月	第2回総合計画審議会(答申)	経営戦略会議
	1月	パブリックコメント	
	2月	市の全員協議会にて報告	
	3月		